

愛知県立芸術大学

入学者選抜に 関する要項

愛知県立芸術大学アドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また愛知が生んだ芸術文化の拠点として国際的に開かれた芸術文化の核となることを目指し、次の三つの理念をかかげます。

- 1) 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指します。
- 2) 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指します。
- 3) 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指します。

その理念と目的に適う人材の育成のために、それぞれの専門分野にふさわしい資質をもつ次のような学生を求めています。

- 芸術を創作・研究する強い意志と感性を持ち、実技の基礎能力がある人。
- 美術界、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人。
- 広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人。

●美術学部のアドミッション・ポリシー

美術学部は、美術科、デザイン・工芸科の二つで構成されていますが、両科とも美術に対する目的意識と意欲のある学生を求めています。自らの表現は個性と共に確実な技術と理論に裏打ちされたものでなければなりません。自己表現をもって地域や国際社会に関わり、貢献する気概のある人を求めています。人に感動を与えられる美術・芸術表現は毎日の自己研鑽の蓄積から生まれるものです。

◆日本画専攻

日本画における絵画表現は伝統的なものであり、学部4年間を通して技法や材料の扱い方を習得し、発展させる為の基礎を養うことで専門の作家として創作活動を行っていくことが出来る人材を求めています。

- 日本画の材料や技法の基礎に基づき、意欲的に作品制作が出来る人。
- 自然に対する観察力・洞察力を幅広く持ち、日本画の基礎を勉強する意志のある人。

◆油画専攻

油画専攻では1、2年次において絵画を中心にカリキュラムを組んでいます。3、4年次では、より深く絵画表現を追求することを中心に据えながら、絵画の範疇に属さない表現の指導も行われています。以上のプロセスを通して美術への深い理解と独自の表現を確立する強い意志をもつ人材を求めています。

- 美術に強い関心と探究心をもっている人。
- 造形に関する基礎的表現力を有し、それをさらに大学で深めようとする人。
- 作品制作に励み、かつ自己表現を追求する努力を惜しまない人。

◆彫刻専攻

彫刻専攻は、国境を越えて展開される様々な造形表現を眺みながら、実技・理論双方に対応できる教育を目指しています。カリキュラムに沿った基礎訓練と応用・展開のプログラムの上に、創造性に満ちた研究を自ら進んで展開することが出来る学生を求めています。

- 自己管理能力と協調性をあわせ持つ人。
- 不得意とする事柄に対してまっすぐ立ち向かう強い意志と、忍耐力、持久力、体力のある人。
- 先入観に抛らず、自身の考えに対して絶えず異なった観点からの問いを発し、自身の創作によってその答えを模索しようとする人。
- 上記のことを含めた意味で、“美術”が好きな人。

◆芸術学専攻

芸術学専攻は、少人数制を生かし、フェイス・トゥ・フェイスの密度の高い指導を通じて、高度な専門家——美術史・美術理論の研究者、学芸員、美術評論家、美術ジャーナリスト、アート・マネジメントや文化財保存の専門家等——の養成を目標として、次のような学生を求めています。

- 美術作品の鑑賞や制作に強い意欲と関心を持っている人。
- 美術史、現代アート論、美学、文化財学等に関心の高い人。
- 柔軟な感性と論理的な思考力を持ち、語学力にも優れている人。

◆デザイン専攻

デザインは、人の生活を創造性豊かに導き、快適で美しく、心地よいモノ、場、空間、情報等を、時代をふまえて社会に提案する研究領域です。求める人物像は次の通りです。

- 自ら学び、考え、よりよく問題を解決しようとするチャレンジ精神旺盛な人。
- 創造力、探求心、発想力が豊かな人。
- 将来に渡ってデザインの世界にかかわる意志を持った人。

◆陶磁専攻

陶磁専攻には陶芸と陶磁器デザインの二つのコースがあり、学部3年生から専門的に学んで行きますが、専攻全体としては基本的な造形力、発想力、描写力、構成力を身につける為の一貫したカリキュラムが組まれています。その理念と目的に適う人材育成の為に次のような資質をもつ学生を求めています。

- 日常生活に関わる陶磁器に関心があり向学心旺盛な人。
- 自分の思いをかたちにしていく創作意欲のある人。
- 陶磁素材の可能性と表現を探究する意欲のある人。

●美術学部のカリキュラム・ポリシー

- 1 美術教育の理念にしたがって、個性を尊重し、自由な発想とオリジナリティの探求とを軸とした、創造性に溢れる人材の育成をめざします。
- 2 少人数制の授業を基本として、それぞれの研究分野にふさわしい専門的な理論と実践の教授をめざします。
- 3 専門教育の充実とならび、教養教育や基礎教育においても、狭い専門分野にとらわれることのない幅広い知見の伝達と、自ら考えることのできる自律的精神の育成、豊かで深い人間性の形成をめざします。

●美術学部のディプロマ・ポリシー

美術学部では創造力豊かな芸術、デザイン、芸術教育等の各分野で幅広く活動を行い、地域や国際社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。そのために基礎段階から少人数のクラス編成で学生と教員が密接な関係を築き、各種の表現技法や個性の尊重を基本として指導を行っています。また、専門の研究領域に入ってから、より各人の持つ世界観や美意識を大切に指導しています。こうした教育方針の集大成として4年次に卒業制作、卒業論文を課し、磨かれた感性、深められた知識、鍛えられた技術等を総合的に評価し、将来の展開に寄与する糧となるように卒業判定を行っています。

※上記学習内容を習得し、所定卒業単位の取得と卒業制作、卒業論文等により学位を授与します。

●音楽学部のアドミッション・ポリシー

豊かな感性と際立った個性、理論と技術の良好なバランス等をそなえ、音楽表現意欲が旺盛な学生を求めています。又、将来、この地域はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動の展開を目指すような、高邁且つ明確な目的意識こうまいと強い気概をもった学生を望んでいます。磨かれた感性、整えられた知識、練られた技術が感動を生み出します。

◆作曲専攻(作曲)

作曲家、指揮者、演奏家、教育者等、創作能力を生かした活動を通して、社会に貢献し得る人材の育成を目指し、以下の点に留意した入学選抜を行います。

- 創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人。
- 感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人。
- 音楽の創作において必要な基礎的能力を身に付けている人。

◆作曲専攻(音楽学)

音楽学コースは音楽に関する研究活動に携わる人材の育成をめざし、以下の点に留意した入学選抜を行います。

- 音楽に対する知的好奇心をもっている人。
- 音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人。
- 芸術に対する豊かな感受性をもっている人。

◆声楽専攻

演奏家、教育者、合唱指揮者(研究者)等として、広く社会に貢献し得る人材を育成します。

そのために以下のような点に留意して入学選抜を行います。

- 豊かな感受性、想像力を備えている人。
- 演奏家としての資質を備えている人。
- 積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人。

◆器楽専攻(ピアノ)

充実した実技個人レッスンにより、高度な音楽性の醸成と演奏技術の向上をめざしています。

学生の自主性、自発的な取り組みを重視し、一人一人が音楽芸術に対する見識を養うことをめざしています。

ピアノ演奏の基本的素養をより確実に捉らえつつ、応用力を涵養し、演奏・研究・教育活動における様々な音楽的局面に対処できる能力の育成をめざしています。

次のような学生を求めています。

- ピアノに取り組む適性と意志を持ち、実技の基礎能力がある人。
- 広い視野と多様な価値観を持ち、意欲が持続する人。
- ピアノ演奏を通して音楽芸術全般に積極的に関与したい人。

◆器楽専攻(弦楽器)

演奏家、教育者等、広く社会に貢献し得る人材の育成をします。そのために以下のような点に留意し入学選抜を行います。

- 豊かな感受性、想像力を備えている人。
- 演奏家としての資質を備えている人。
- 将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人。

◆器楽専攻(管打楽器)

ソリスト・室内楽奏者・オーケストラ奏者等の演奏活動、また教育者・指導者としての活動を通じて広く社会貢献し得る人材の育成をめざし、以下の点に留意して入学選抜を行います。

- 豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人。
- 協調性、適応能力に優れた人。
- 物事への積極性、また国際性を備えている人。

●音楽学部のカリキュラム・ポリシー

学生が幅広く音楽の基礎を学び、さらに発展させる過程で専門における表現力が身につくようカリキュラムが組まれています。入学当初から基礎教育を重視し、3、4年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うべく、各専攻には様々な実践的授業が用意されています。具体的な特徴として、学生の個性を最大限に伸ばすため、1年次から徹底したマンツーマン教育を行い、同時に幅広い授業科目を設定することにより音楽のプロフェッショナルに必要な知識、技術、見識を身につけます。充実した外国語科目群もその現れです。また教員組織は第一線で活躍する演奏家、研究者、作曲家等から構成され、最高水準の音楽に触れることで学生の学習意欲を高めます。

●音楽学部のディプロマ・ポリシー

愛知県立芸術大学音楽学部では確かな演奏技術や音楽作品を創作するための表現技法、音楽の学問的研究等、それぞれの学生が豊かな感性を養うと同時に、表現技術を習得出来るよう、学部1年次から個人レッスンを中心とした基礎教育を行っています。3、4年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うべく、各専攻で様々な実践的カリキュラムが組まれています。又、4年次には創作、研究、演奏の成果を卒業作品、卒業論文、卒業演奏の発表によって評価し、国際的視野に立った芸術・研究活動の展開を目指すような、明確な目的意識と強い気概、実力を伴った人間性豊かな学生が育つことを望んでいます。

よって、以上の学習内容を習得し、所定卒業単位の取得と卒業作品・卒業論文・卒業演奏等により、学士の学位を授与します。

平成 29 年度 愛知県立芸術大学入学者選抜に関する要項

1 学部、学科、専攻及び募集人員

学部	学科	専攻 (コース)	定員	募集人員						
				一般入試	自己推薦 特別入試	社会人 特別入試	推薦入試			
美術学部	美術科	日本画	10名	10名	/	/	/			
		油画	25名	25名						
		彫刻	10名	10名				(若干名)		
		芸術学	5名	5名						
	デザイン・工芸科	デザイン	35名	25名	10名	(若干名)				
		陶磁	10名	10名	/	/				
計			95名	95名						
音楽学部	音楽科	作曲	10名	10名	/	/	/			
		(作曲)	(8名)	(8名)				(若干名)	(-)	
		(音楽学)	(2名)	(2名)				(-)	(若干名)	
		声乐	30名	30名				/	/	(若干名)
		器楽	60名	60名						(-)
		(ピアノ)	(25名)	(25名)						(若干名)
		(弦楽器)	(15名)	(15名)						(若干名)
		(管打楽器)	(20名)	(20名)				(若干名)		
計			100名	100名						
合計			195名	195名						

※ 美術学部の自己推薦特別入試彫刻専攻募集人員(若干名)、社会人特別入試募集人員(若干名)、音楽学部の自己推薦特別入試(若干名)及び推薦入試募集人員(若干名)は、一般入試の募集人員に含まれます。

2 一般入試

(1) 出願資格

本学に出願できる者は、平成 29 年度大学入試センター試験において本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 29 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成 29 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注) 出願資格⑧により出願しようとする者は、平成 28 年 8 月 26 日(金)までに入試・広報課に申し出て、その指示を受けてください。

なお、私費外国人留学生は、大学入試センター試験を受験する必要はありませんが、独立行政法人 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を次のとおり受験してください。

「日本留学試験」① 美術学部については、「日本語」と「総合科目」を、音楽学部については、「日本語」と「総合科目」を受験するか、「日本語」と「数学(コース 1 又はコース 2)」を受験してください。

- ② 「総合科目」、「数学（コース1又はコース2）」については、日本語での出題を受験してください。
- ③ 平成28年6月実施・11月実施のいずれの試験を受験してもかまいません。
- ④ 渡日前入学許可は行いません。（外国において本学の入学者選抜は行いません。）

〔参考〕 独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 (03) 6407-7457 (直通)

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査（専攻別実技試験等）及び調査書により総合的に判定します。選抜方法等については、別紙1、別紙2のとおりです。

なお、本学においては、「大学入試センター試験の前年度成績」は利用しません。

- (3) 大学入試センター試験の受験を要する教科等
別紙3、別紙4のとおりです。
- (4) 個別学力検査の実施教科、科目等
別紙3、別紙4のとおりです。
- (5) 個別学力検査実施期日
別紙5のとおりです。
- (6) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談
事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

3 美術学部自己推薦特別入試

美術学部美術科彫刻専攻及びデザイン・工芸科デザイン専攻において実施します。彫刻専攻においては、平成29年3月31日現在において18歳以上の者、デザイン専攻においては平成29年3月31日現在において、18歳以上かつ22歳以下の者を対象とします。大学入試センター試験を免除し、調査書、自己推薦書及び自己アピール資料等による第1次選考後、面接及び小論文（小論文は彫刻専攻のみ）による第2次選考を行います。

出願資格詳細及び実施細目については、別紙6を参照してください。

出願期間：平成28年10月26日（水）～平成28年11月2日（水）最終日午後5時必着 選抜期日：平成28年11月26日（土）～平成28年11月27日（日）第1次選考合格者のみ
--

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

4 社会人特別入試

美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻において、平成29年3月31日現在において、社会人の経験を3年以上有する23歳以上の者を対象に実施し、大学入試センター試験を免除し、自己推薦資料等の内容、小論文及び面接等により総合的に判定、選抜します。

実施細目については、別紙7を参照してください。

出願期間：平成28年10月26日（水）～平成28年11月2日（水）最終日午後5時必着 選抜期日：平成28年11月26日（土）第1次選考合格者のみ

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

5 推薦入試

音楽学部音楽科作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース、管打楽器コースにおいて、平成29年3月卒業等見込みの者で出身学校長が推薦したものを対象に実施します。大学入試センター試験を免除し、調査書、音楽活動記録書等による第1次選考後、実技試験及び音楽に関する基礎的能力試験等による第2次選考を行います。

実施細目については、別紙8を参照してください。

出願期間：平成28年10月26日（水）～平成28年11月2日（水）最終日午後5時必着 選抜期日：平成28年11月26日（土）～平成28年11月27日（日）第1次選考合格者のみ
--

※障がい有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

6 音楽学部自己推薦特別入試

音楽学部音楽科作曲専攻作曲コースにおいて、平成29年3月31日現在において35歳以下の者を対象に実施します。大学入試センター試験を免除し、調査書、音楽活動記録書等の提出書類と提出作品による第1次選考後、実技試験及び口述試験による第2次選考を行います。

実施細目については、別紙9を参照してください。

出願期間：平成28年10月26日（水）～平成28年11月2日（水）最終日午後5時必着 選抜期日：平成28年11月26日（土）第1次選考合格者のみ

※障がい有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

7 各募集要項請求方法等

美術学部自己推薦特別入試、社会人特別入試、音楽学部推薦入試・自己推薦特別入試の募集要項は7月下旬、一般入試の募集要項は10月上旬配布予定です。

(1) 大学のホームページから請求する場合

詳しくは、愛知県立芸術大学ホームページをご覧ください。(http://www.aichi-fam-u.ac.jp/)

(2) インターネット（携帯電話・パソコン）で請求する場合

①下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

 テレメール	インターネット（携帯電話・パソコン）	自動音声応答電話
	http://telemail.jp パソコン・携帯電話各社共通アドレスです。	IP 電話 050-8601-0101
	QRコード ※携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 	(24時間受付) ※通話料金は必要となります。

②その他

- ・ 発送開始日までの請求は予約受付になり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。
- ・ 送料は、お届けする資料に同封されている支払方法に従い支払ってください。
- ・ 随時発送中の表示があるものは、受付から2～3日程度で送付されます。

(1)、(2)の請求方法等についてのお問い合わせは、

テレメールカスタマーセンター（電話 050-8601-0102 9:30～18:00）をお願いします。

8 受験に関する照会先

〒480-1194

愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試・広報課

電話 0561-76-2603（直通）（照会時間は午前9時から午後5時まで）

ただし、土・日曜日、祝日等大学事務局が休業となる日は除きます。

(別紙1)

平成29年度 愛知県立芸術大学入学者選抜方法等
 (一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等		個別学力検査等								専門高校・総合学科卒業生入試					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考(欠員の補充の方法等)						
		実技検査等				2段階選抜				個別学力検査を課する	実技検査等							募集人員					
		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階に合格者の数		外国語におけるリスニングテストを課する		小論文を課する	面接を行う	実技検査を課する										
							定員に対する倍率	その他															
学部・学科名		個別学力検査を課する		面接を行う		小論文を課する		外国語におけるリスニングテストを課する		主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う		第1段階に合格者の数		外国語におけるリスニングテストを課する		小論文を課する		面接を行う		実技検査を課する		募集人員	
美術学部	美術科	日本画専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格				
		油画専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
		彫専攻	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
		芸術学専攻	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
	デザイン・工芸科	デザイン専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
		陶専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
音楽学部	作曲専攻	作曲	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格				
		音楽学	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
	声専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格				
	器楽専攻	ピアノ	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
		弦楽器	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			
		管打楽器	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格			

注：該当する欄には○印、該当しない欄には×印を付しました。

(別紙2)

平成29年度 愛知県立芸術大学入学者選抜方法等 (特別入試)

選抜方法等		推 薦 入 試										帰国子女入試 ・ 社会人入試			その他の入試	備考	
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する										推薦入試募集人員					
		実 技 検 査 等															
		個別学力検査を免除し大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査を課する	面接を行う(口述試験を含む)	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他									
学部・学科名		帰国子女	中国引揚者等子女	社会人													
美術学部	美術科	日本画専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		油画専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		彫刻専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※ ○	その他の入試はすべて自己推薦とする
		芸術学専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	デザイン・工芸科	デザイン専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	※ ○	その他の入試はすべて自己推薦とする
		陶磁専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
音楽学部	音楽科	作曲専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※ ○	その他の入試はすべて自己推薦とする
		音楽学専攻	×	○	○	○	○	×	○	若干名	×	×	×	×	×	×	
		声楽専攻	×	○	○	×	×	×	○	若干名	×	×	×	×	×	×	
	器楽専攻	ピアノ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		弦楽器	×	○	○	○	×	×	○	若干名	×	×	×	×	×	×	
		管打楽器	×	○	○	○	×	×	○	若干名	×	×	×	×	×	×	

※その他の入試は、自己推薦による入学者選抜で出身学校長の推薦に基づくものではありません。

平成29年度 愛知県立芸術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(美術学部)

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度 志願倍率〕	学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		特別の選抜 方法等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
美術学 部	後期 3月14日 17日 18日	国 数 外	国語 1科目 数Ⅰ・数Ⅱ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報 から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目	その他	実技検査	追加合格
		地歴・ 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 物理、化学、生物、地理 から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目(1科目扱い)	その他	実技検査	
[8.9] 95人	後期 3月12日 17日 18日		【3教科3科目】	その他	実技検査 面接	自己推薦 追加合格
美術科 彫刻専攻 10人	後期 3月14日 17日 18日	外		外 地歴	英語 地理歴史(日本 史B、世界史Bか ら1科目選択)	追加合格
		地歴・ 公民 理		その他	実技検査 面接 小論文	
美術科 芸術学専攻 5人	後期 3月12日 17日			その他	実技検査	自己推薦 社会人 追加合格
デザイン・工芸科 デザイン専攻 35人	後期 3月16日 17日			その他	実技検査	追加合格
		デザイン・工芸科 陶磁専攻 10人		その他	実技検査	

(注) 定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査の受験を認めませんので、十分注意して下さい。

平成29年度 愛知県立芸術大学入学選抜の実施教科・科目等について(音楽学部)

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		特別の選抜 方法等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
音楽学部 [3.2] 100人	後期 3月11日 12日 13日 15日	外 国 地歴・ 公民	英、独、仏 から1科目必須 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 教I、教I・教A、教II、教II・教B、簿・会、情報 から1科目 物理、化学、生物、地学から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目(1科目扱い)	その他	実技検査	自己推薦 追加合格
	後期 3月12日 13日 15日	教 理	から1選択 【2教科2科目】	外 その他	外国語(英、独、 仏)から1科目選 択 実技検査 論述試験 口述試験	
音楽科 声楽専攻 30人	後期 3月12日 13日 15日	その他		その他	実技検査	推薦 追加合格
音楽科 器楽専攻 (ピアノ) 25人	後期 3月9日 10日 12日 13日 15日	その他		その他	実技検査	追加合格
音楽科 器楽専攻 (弦楽器) 15人	後期 3月12日 13日 15日	その他		その他	実技検査	推薦 追加合格
音楽科 器楽専攻 (管打楽器) 20人	後期 3月11日 13日 15日	その他		その他	実技検査	推薦

(注) 定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査の受験を認めませんので、十分注意して下さい。

(別紙5)

平成29年度 愛知県立芸術大学個別学力検査(専攻別実技試験等)日程

出願期間：平成29年1月23日(月)～平成29年2月1日(水)

学部	学科	専攻 (コース)	実技試験日程	
美術	美術	日本画	後 期 日 程	平成29年3月14日(火) 平成29年3月17日(金)・18日(土)
		油画		平成29年3月12日(日) 平成29年3月17日(金)・18日(土)
		彫刻		平成29年3月14日(火) 平成29年3月17日(金)・18日(土)
		芸術学		平成29年3月12日(日) 平成29年3月17日(金)
	デザイン・工芸	デザイン		平成29年3月16日(木)・17日(金)
		陶磁		平成29年3月17日(金)・18日(土)
音楽	作曲	作曲	後 期 日 程	平成29年3月11日(土)・12日(日)・13日(月) 平成29年3月15日(水)
		音楽学		平成29年3月12日(日)・13日(月) 平成29年3月15日(水)
		声乐		平成29年3月12日(日)・13日(月) 平成29年3月15日(水)
	器楽	ピアノ		平成29年3月9日(木)・10日(金) 平成29年3月12日(日)・13日(月) 平成29年3月15日(水)
		弦楽器		平成29年3月12日(日)・13日(月) 平成29年3月15日(水)
		管打楽器		平成29年3月11日(土) 平成29年3月13日(月) 平成29年3月15日(水)
合格発表日			平成29年3月21日(火)	

(別紙6)

平成 29 年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法 (美術学部自己推薦特別入試)

実施学部・学科名	美術学部：美術科 彫刻専攻、デザイン・工芸科 デザイン専攻			
募集人員	美術学部：美術科 彫刻専攻若干名 美術学部：デザイン・工芸科 デザイン専攻 10名			
出願資格	<p>彫刻専攻：次の(1)と(2)の両方に該当する者</p> <p>デザイン専攻：平成 29 年 3 月 31 日現在において <u>22 歳以下</u>で、次の(1)と(2)の両方に該当する者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none">① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込みの者② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 29 年 3 月修了見込みの者③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 29 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの <p>※出願資格⑧により出願しようとする者は、平成 28 年 8 月 26 日（金）までに入試・広報課に申し出て、その指示を受けてください。</p> <p>(2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者</p>			
出願期間	平成 28 年 10 月 26 日（水）～平成 28 年 11 月 2 日（水）最終日午後 5 時必着			
選抜期日 及び 選抜方法	彫刻専攻	第 1 次選考		自己アピール資料・書類審査
		第 2 次選考	平成 28 年 11 月 26 日（土）	小論文・面接
	デザイン専攻	第 1 次選考		自己アピール資料・書類審査
		第 2 次選考	平成 28 年 11 月 26 日（土） または 平成 28 年 11 月 27 日（日）	面接
合格発表日	第 1 次選考合格者発表	平成 28 年 11 月 17 日（木）		
	最終合格者発表	平成 28 年 12 月 5 日（月）		

(別紙7)

平成29年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法 (社会人特別入試)

実施学部・学科名	美術学部：デザイン・工芸科 デザイン専攻		
募集人員	美術学部：デザイン・工芸科 デザイン専攻 若干名		
出願資格	<p>平成29年3月31日現在において23歳以上に達し、社会人の経験(※1)を3年以上有する者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成29年3月31日までに合格見込みの者</p> <p>(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(※2)</p> <p>※1 社会人の経験：定時制、通信制及び夜間部以外の学校(大学を含む)の在学期間は、社会人の経験期間に含めません。</p> <p>※2 出願資格(8)により出願しようとする者は、平成28年8月26日(金)までに入試・広報課に申し出て、その指示を受けてください。</p>		
出願期間	平成28年10月26日(水)～平成28年11月2日(水)最終日午後5時必着		
選抜期日 及び 選抜方法	デザイン専攻	第1次選考	出願書類審査
		第2次選考	平成28年11月26日(土) 小論文・面接
合格発表日	第1次選考合格者発表	平成28年11月17日(木)	
	最終合格者発表	平成28年12月5日(月)	

(別紙8)

平成29年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法 (推薦入試)

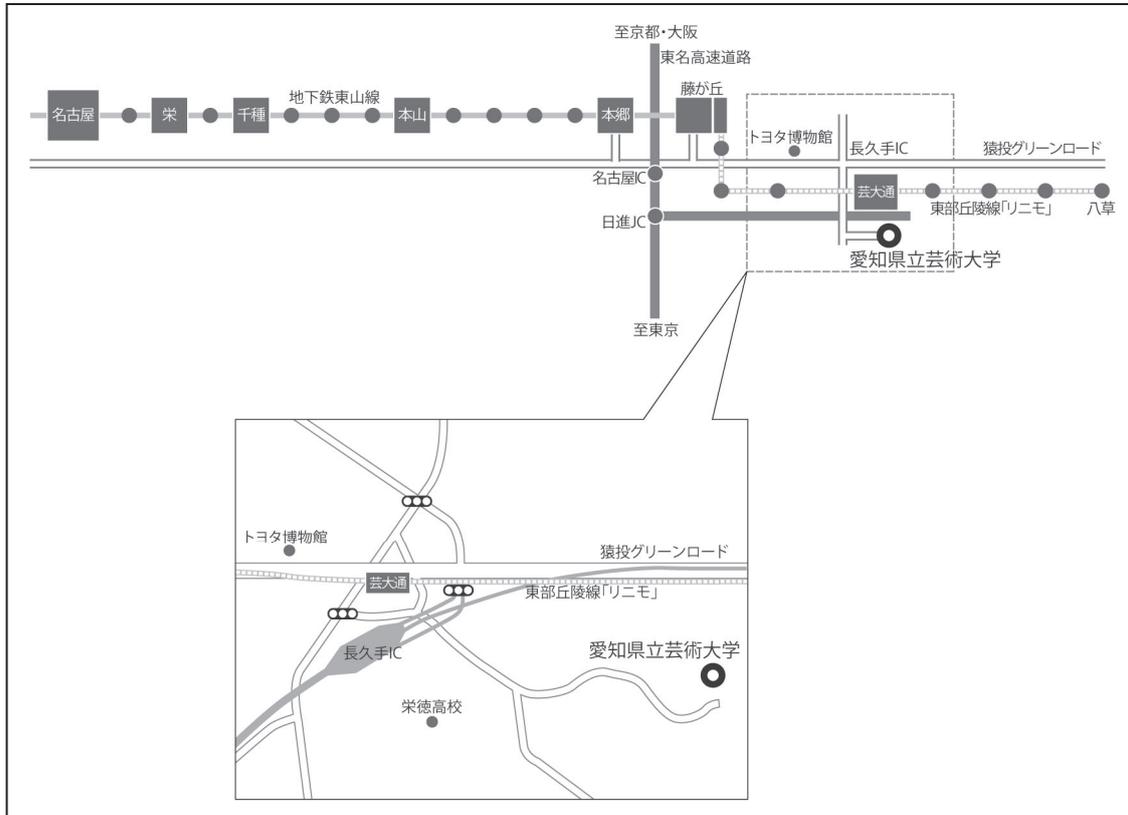
実施学部・学科名	音楽学部：音楽科 作曲専攻（音楽学）、声楽専攻 器楽専攻（弦楽器、管打楽器）				
募集人員	音楽学部：音楽科 作曲専攻（音楽学）、声楽専攻 器楽専攻（弦楽器、管打楽器） 各専攻（コース）若干名				
出願資格	本学に出願できる者は、次の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年3月31日までに修了見込みの者 ③ 上記①②以外の学校を平成29年3月卒業見込みの者で、本学において、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、平成29年3月31日までに18歳に達するもの ※出願資格③により出願しようとする者は、平成28年8月26日（金）までに入試・広報課に申し出て、その指示を受けてください。 (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者 (3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者 各学校において推薦できる人数は、作曲専攻（音楽学）、声楽専攻、器楽専攻（弦楽器）それぞれ専攻（コース）につき1名までとします。器楽専攻（管打楽器）においては、木管楽器・金管楽器・打楽器にそれぞれ1名まで推薦できます。 (4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者				
出願期間	平成28年10月26日（水）～平成28年11月2日（水）最終日午後5時必着				
選抜期日 及 び 選抜方法	作曲	音楽学	第1次選考		書類審査（提出小論文を含む）
			第2次選考	平成28年11月26日（土） 11月27日（日）	口述試験・音楽学の基礎的能力試験（英語力を試す出題を含む）・音楽の基礎的能力試験
	声楽	第1次選考		書類審査	
		第2次選考	平成28年11月26日（土） 11月27日（日）	実技・音楽の基礎的能力試験	
	器楽	弦楽器	第1次選考		書類審査
			第2次選考	平成28年11月26日（土） 11月27日（日）	実技・口述試験・音楽の基礎的能力試験
		管打楽器	第1次選考		書類審査（録音による審査を含む）
			第2次選考	平成28年11月26日（土） 11月27日（日）	実技・口述試験・音楽の基礎的能力試験
合格発表日	第1次選考合格者発表 平成28年11月17日（木） 最終合格者発表 平成28年12月5日（月）				

(別紙9)

平成29年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法（音楽学部自己推薦特別入試）

実施学部・学科名	音楽学部：音楽科 作曲専攻（作曲）			
募集人員	音楽学部：音楽科 作曲専攻（作曲） 若干名			
出願資格	平成29年3月31日現在において <u>35歳以下</u> で、次の(1)と(2)の両方に該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成29年3月31日までに合格見込みの者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの ※出願資格⑧により出願しようとする者は、平成28年8月26日（金）までに入試・広報課に申し出て、その指示を受けてください。 (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者			
出願期間	平成28年10月26日（水）～平成28年11月2日（水）最終日午後5時必着			
選抜期日 及び 選抜方法	作曲専攻 （作曲）	第1次選考		書類審査（提出作品を含む）
		第2次選考	平成28年11月26日（土）	器楽曲作曲・口述試験
合格発表日	第1次選考合格者発表	平成28年11月17日（木）		
	最終合格者発表	平成28年12月5日（月）		

所在地案内図



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試・広報課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2603(入試・広報課直通)

入試情報提供専用サイトURL <http://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

